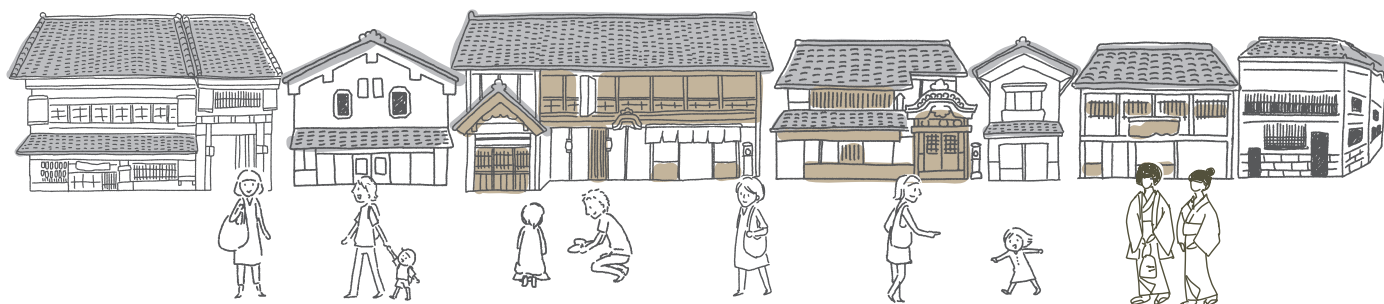


北国街道 本町・市町の10年後を考えてみませんか？
店が並び観光客でにぎわうまちづくりは、可能です！



小諸宿の歴史ある建物を活かして、 観光商業をおこす

7/26 (水) 14:00~16:00

会場 市民交流センター 会議室6,7

入場無料 問い合わせ ☎ 0267-25-2770 (町屋館)

主催 本町区まちづくり推進協議会、市町(本陣会、裏町会)

協力 NPO 小諸町並み研究会

後援 小諸市、小諸市教育委員会

～川越に学ぶ
伝建*の効果と課題、
その他の手法

*重要伝統的建造物群保存地区

小諸市は昨年度より、国の「重要伝統的建造物群保存地区(略して伝建)」の選定を目指し、本町・市町などの歴史的建物の調査を進めています。

伝建は、国が歴史的価値の高い町並みを選定し、その保存活用に対して永続的に支援する制度です。

選定されれば、よりブランド力の高い観光商業地を形成することが可能になります。

今回お話を伺う川越の町並みも、40年前にはさびれた商店街だったそうですが、商店主が歴史の町並みを活かしたまちおこしに向け立ち上がり、独自のルールをつくって魅力的な商業観光地をつくりました。

川越市はそれに伴走し、伝建だけでなく、さまざまな国の制度も活用して歴史まちづくりに取り組みました。

今回の講師の加藤さんは、市役所の職員としてそれとずっと携わってきた方です。

伝建の可能性やむずかしさ、その他の有効なまちづくり手法についてお話いただき、小諸のまちづくりについてもアドバイスをいただきます。

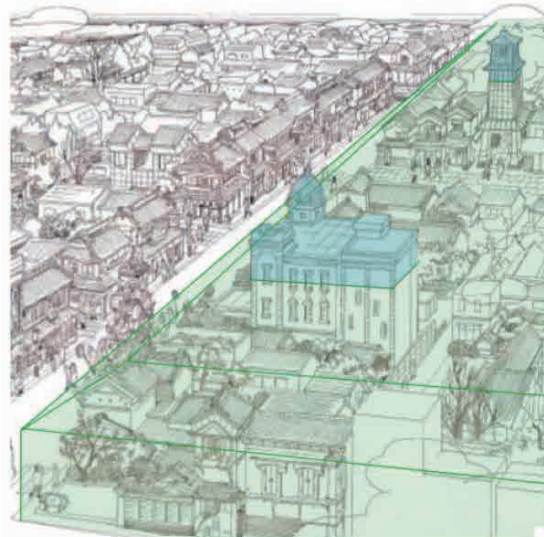


講師

加藤忠正さん

(元川越市都市計画部参事、
一級建築士)

1978年川越市役所に入庁以来、都市計画、美術館、文化財、建築審査などを担当。個人としても、商店街の町並み委員会に初動期から幹事として参加。退職後、小江戸川越観光協会専務理事。NPO法人アーバンデザイン研究体理事。2021年、空き店舗だった町屋を、「百足屋(むかでや)」としてオープンし、株式会社取締役として運営にあたる。カフェ、ショップ、茶道・華道などの日本文化の体験教室のコーディネーターを務める。



川越市の町並み地区の高さ規制のライン